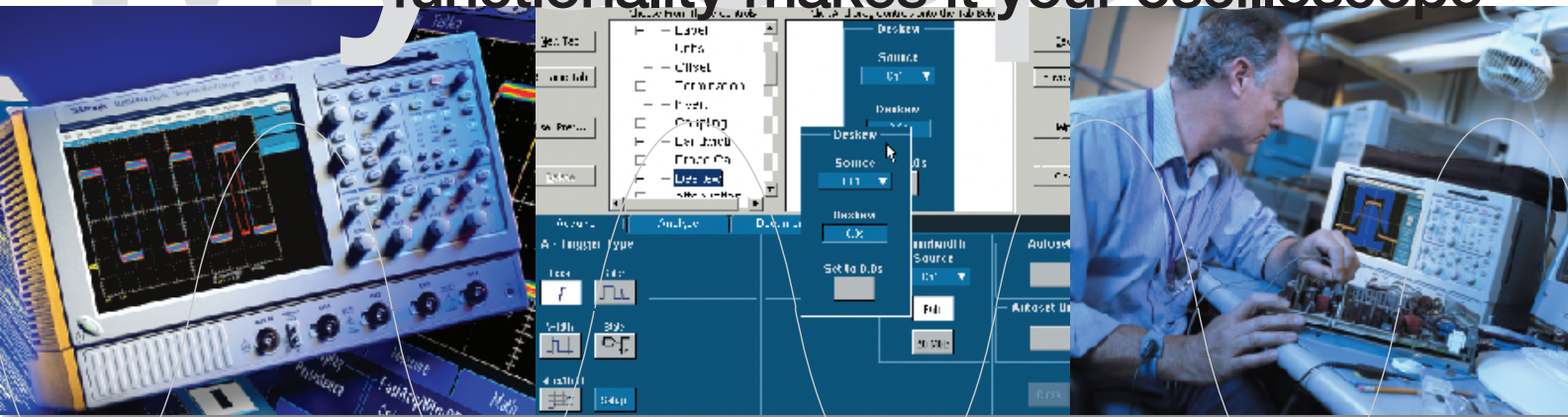


MyScope

functionality makes it your oscilloscope



TDS5000Bシリーズは、今までにない優れた操作性を実現したミッドレンジ・モデルのデジタル・フォスファ・オシロスコープ (DPO) です。

MyScope

functionality makes everything more efficient



エンジニアは、設計、テストにおける製品化スケジュールの短期化の問題に直面しています。また、高性能および高機能化の要求に加え、ますます短縮される製品のライフ・サイクルに対応することも課題です。オシロスコープは、新製品の設計および開発プロセスで使用される不可欠なツールです。時間に追われるエンジニアは、オシロスコープの使用方法を学んだり、学び直したりすることに時間を費やすのではなく、設計作業自体に集中する必要があります。

一方、検証に使用するオシロスコープも絶え間なく機能が向上しています。性能面（周波数帯域、サンプル・レート、レコード長、波形取り込みレートなど）が向上しているだけでなく、新しい機能や解析パッケージも絶えず追加されています。これらの機能はいずれも非常にパワフルで有効ですが、初めて使用するユーザや使用頻度の低いユーザ、あるいはオシロスコープの一部の機能だけを使用するユーザにとっては、機能が多すぎると感じられることがあります。同じメニューを使って同じ測定作業を1日に数百回も実行するパワー・ユーザでも、各プロセスの余分なステップはいただたく、時間の無駄を感じることでしょう。

ここでは、カスタム・コントロール・ウィンドウを作成するMyScope™の革新的な新機能について説明します。この機能を使用すると、オシロスコープ・ユーザの業務効率を大きく向上させ、開発時間短縮、プログラム・コストの削減が図れます。

MyScope コントロール・ウィンドウ

オシロスコープを使用しているときに、次のようなことが原因でいらだたしさを感じたことはないでしょうか。

- ▶ 必要な機能があるとわかっているが、その機能が見つからない
- ▶ 必要な機能の位置がわかっているが、その機能はサブメニューの中にある
- ▶ 必要な機能が、頻繁に使用しないメニューの中にある
- ▶ 実際の作業よりもメニューの操作に多くの時間を費やしている

これらのいずれかにいらだたしさを感じたことがある場合は、MyScope コントロール・ウィンドウを使用すると、オシロスコープの操作効率が向上し、業務を円滑に進めることができるようになります。この革新的なMyScope機能を使用すると、作業に必要な機能だけを集約した、独自のコントロール・ウィンドウとして、迅速かつ簡単に作成できます。

MyScope コントロール・ウィンドウの作成方法

次の図に示すように、MyScopeと呼ばれる新しいメニューが、オシロスコープのディスプレイ最上部にあるメニュー・バー/ボタン・バーに追加されています。

このメニューから [New Control Window] を選択すると、次のページに示すMyScope設定画面が開きます。次のページで、この設定画面のいくつかの特長について説明します。

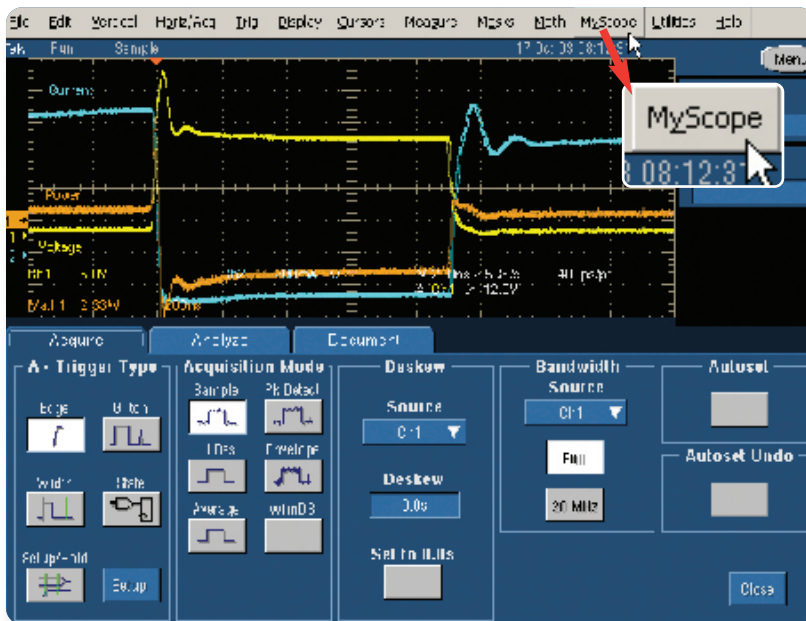


図1 — メニュー・バー

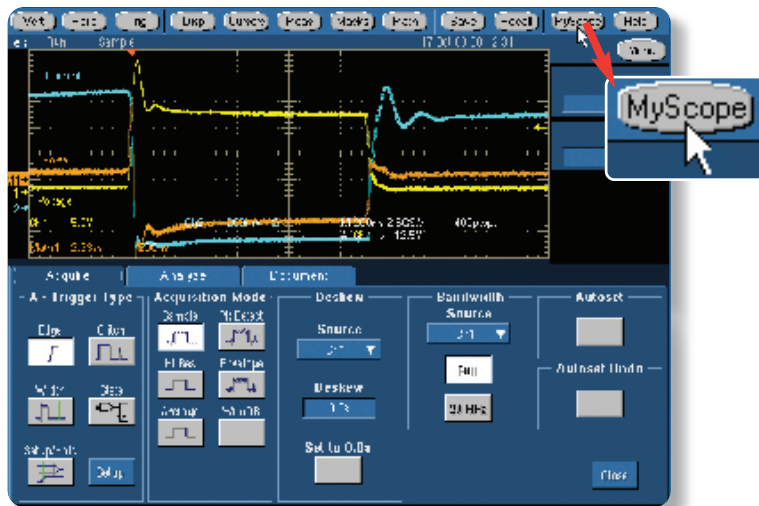


図2 — ボタン・バー

Setup Window

puts you in control

コントロール・ツリー

コントロール・ツリーには、MyScope コントロール・ウィンドウの作成時に使用できるすべてのコントロールが含まれています。太字で示した第1レベルの項目はカテゴリを示しています。このカテゴリの横の[+]シンボルをクリックすると、そのカテゴリで使用できるコントロールのリストが表示されます。このツリーは通常のUIメニューと同様に構成されていますので、使いたい機能を簡単に見つけることができます。たとえば、[Vertical]メニューに含まれるすべてのコントロールは、[Vertical]カテゴリに含まれています。図4では、[Vertical]カテゴリを開き、使用できるコントロールを表示しています。

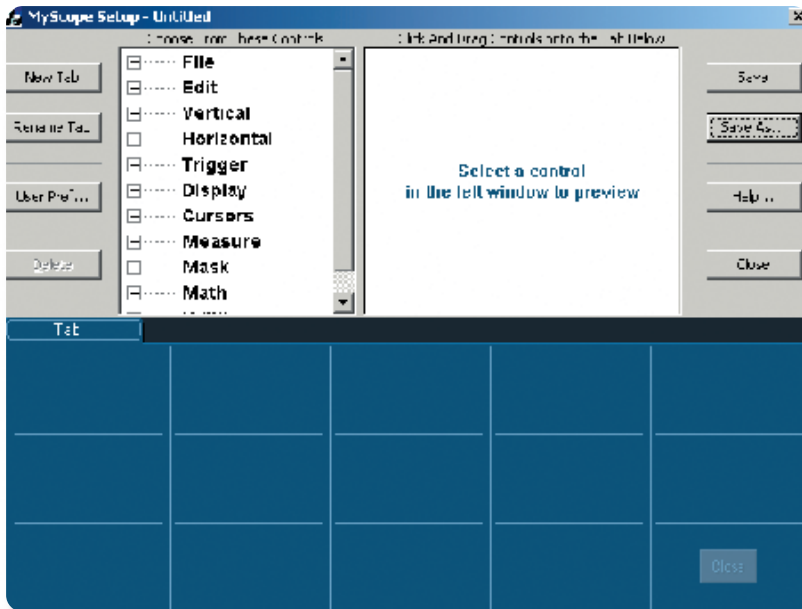


図3 — コントロール・ツリー

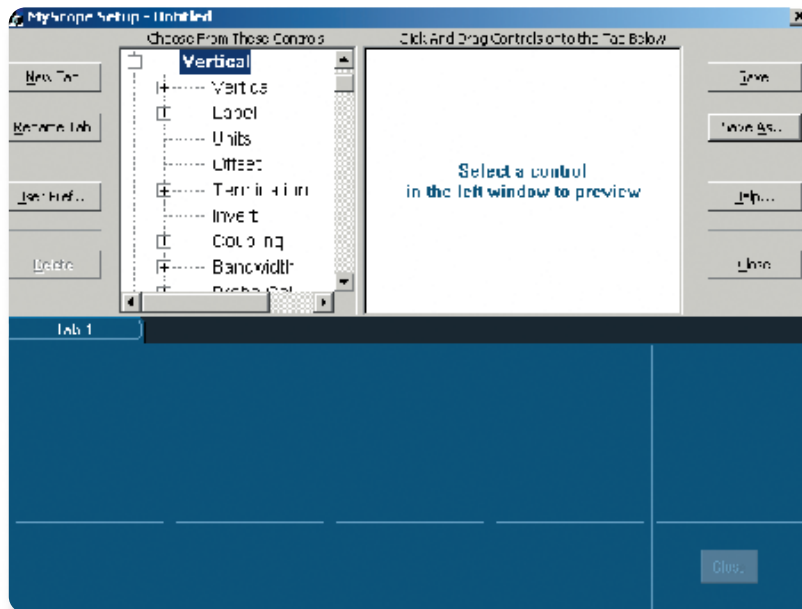


図4 — [Vertical]メニュー

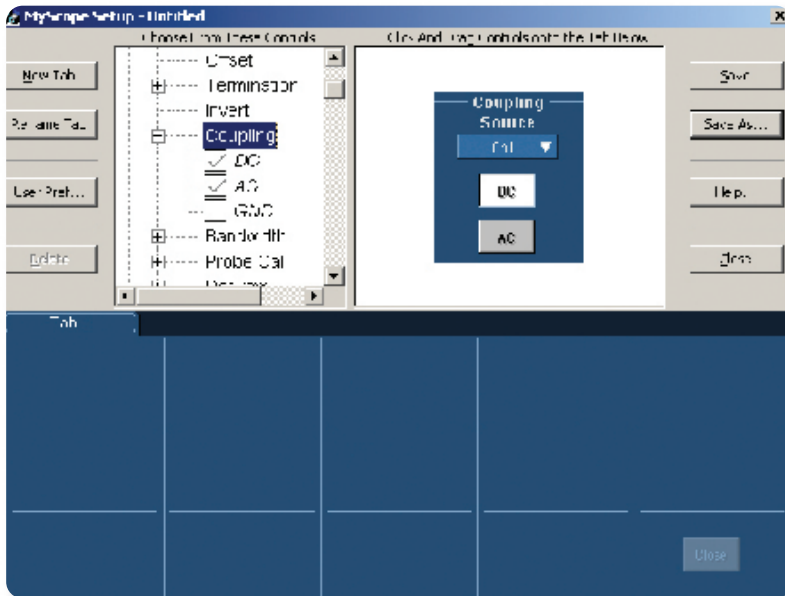


図5 — プレビュー・ウィンドウ

プレビュー・ウィンドウ

左側のツリーでコントロールを選択すると、それがプレビュー・ウィンドウに表示されます。その結果、コントロールの外観、表示サイズ、含まれるコンポーネントなどがわかります。また、個々のコンポーネントのオン/オフを切り替えることにより、多くのコントロールをさらにカスタマイズできます。たとえば、図5では、GNDカップリングをオフにすることにより、[Coupling]コントロールからGNDカップリングが削除されています。項目のオン/オフを切り替えると、含まれるコンポーネントの数に応じて、プレビューしているコントロールの表示サイズが変化します。

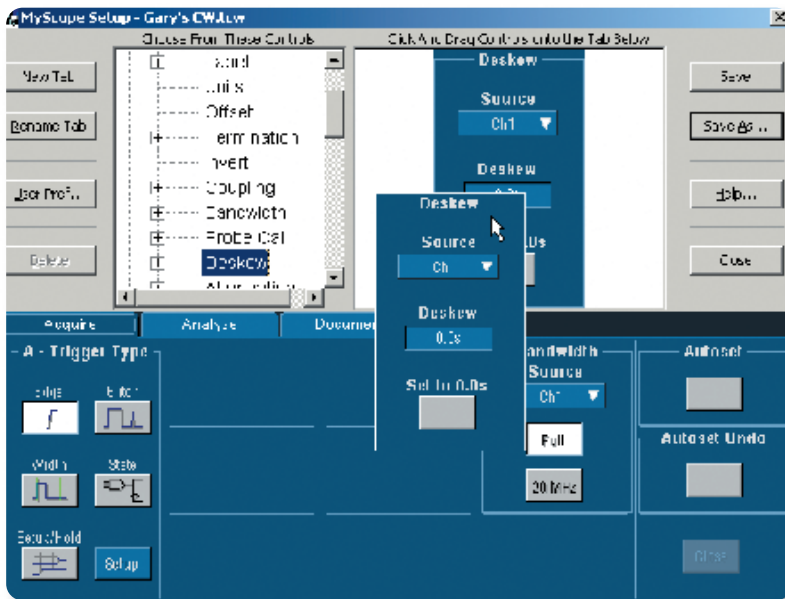


図6 — レイアウト・エリア

MyScopeコントロール・ウィンドウレイアウト・エリア

設定画面の下半分はMyScopeコントロール・ウィンドウのレイアウトを表します。このコントロール・ウィンドウのサイズと形状は、標準のコントロール・ウィンドウと同じです。レイアウト・エリアは3行×5列のグリッドに分割されています。コントロールを選択し、プレビュー・ウィンドウで希望どおりに設定したら、レイアウト・エリアの希望の位置にドラッグ&ドロップします(図6)。コントロールが配置しきれなくなったら[New Tab]ボタンをクリックし、別のタブをMyScopeコントロール・ウィンドウに追加して別のコントロールを配置します。最大で8個のタブをカスタム・コントロール・ウィンドウで使用でき、各々のタブにはユーザ定義の名前をつけることができます。

コントロールをプレビューし、ドラッグ&ドロップで配置するだけで、頻繁に使用するすべてのコントロールをMyScopeコントロール・ウィンドウ内に自由に配置できます。また、図7に示すようにタブにAcquire、Analyze、およびDocumentのように名前を付けることができます。頻繁に実行する一連のテストがある場合は、そのテストに使用するコントロールを1つのタブの中に配置することができます。いずれの場合でも、MyScopeコントロール・ウィンドウを作成したら、保存して設定画面を閉じるだけで、MyScopeコントロール・ウィンドウはすぐに使用できる状態になります。

自分専用の環境設定

オシロスコープを複数人で使用している場合は、各個人の好みに合わせて環境設定を変更することができると便利です。MyScopeでは、自分のMyScopeコントロール・ウィンドウをロードすると、自分の環境設定が自動的に再現されますので、直前に誰がどのような使い方をしていたとしても、直ちに自分の環境設定に戻し、作業を開始することができます。



図7 — [Acquire]、[Analyze]、および[Document]タブ

Create as many control windows as you like

MyScopeコントロール・ウィンドウの使用

MyScopeコントロール・ウィンドウのもっともパワフルな機能の1つは、必要な数だけカスタム・コントロール・ウィンドウを作成できることです。MyScopeウィンドウはオシロスコープのハード・ディスク・ドライブにファイルとして保存できますので、このファイルを電子メールに添付して送信すれば、カスタム・コントロール・ウィンドウをほかのTDS5000Bシリーズに転送したり、世界中の同僚に送信することも簡単です。

複数人でオシロスコープを共有している環境では、各オシロスコープ・ユーザが独自のMyScopeコントロール・ウィンドウを作成し、オシロスコープのユーザ・インタフェースを各自のニーズに合わせてカスタマイズできます。他のユーザの設定に影響を与える心配もありません。各ユーザは異なるテストやタスク用に独自のコントロール・ウィンドウを数多く作成できますが、開いてアクティブにできるのは常に1つのMyScopeコントロール・ウィンドウのみです。したがって、他のユーザが使用しているコントロール・ウィンドウを、気づかずに使用してしまうという心配もありません。

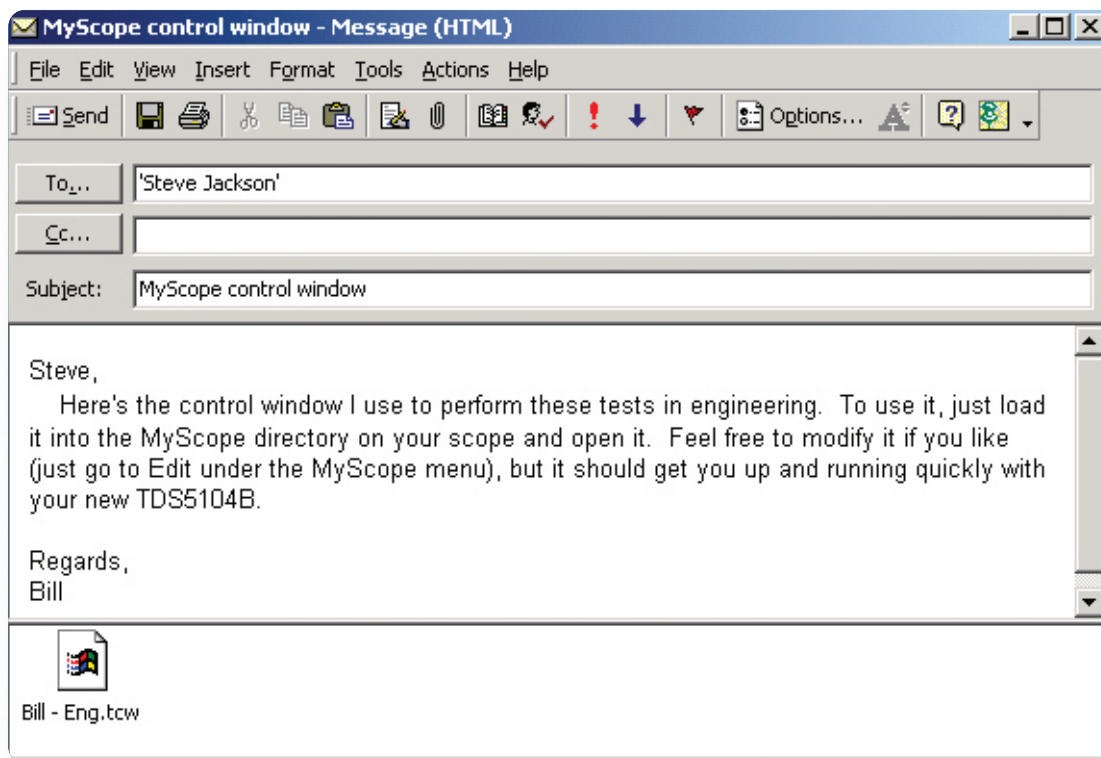


図8 — MyScopeファイルの電子メールによる送信

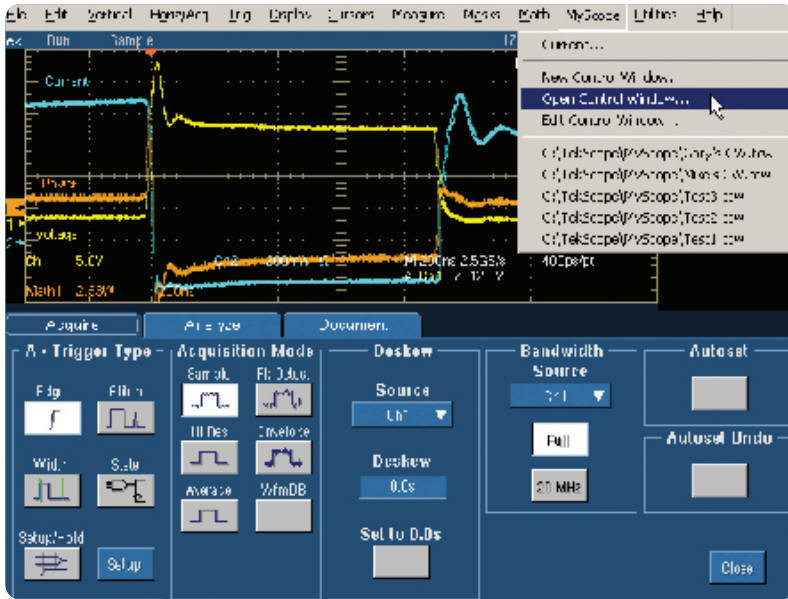


図9 — コントロール・ウィンドウの呼出

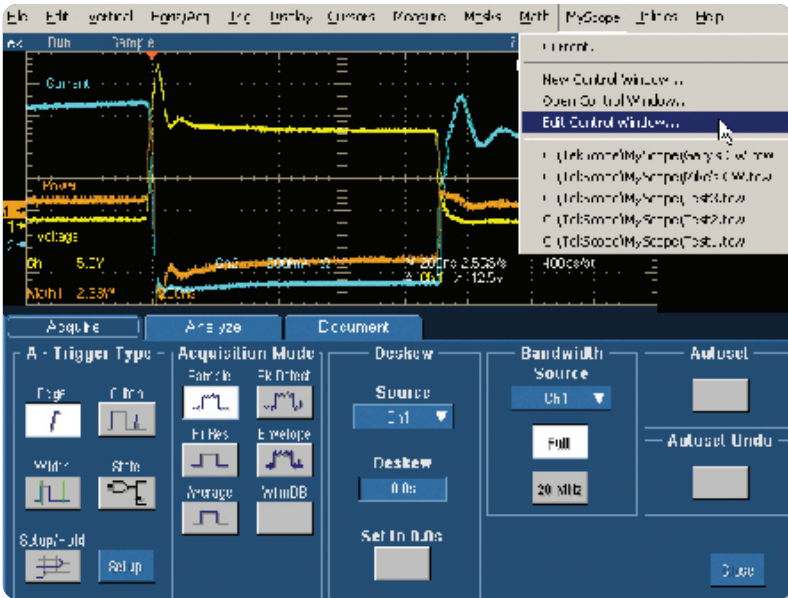


図10 — コントロール・ウィンドウの編集

MyScopeコントロール・ウィンドウをロードするには、MyScopeメニューを表示して[Open Control Window]を選択し、使用したいMyScopeファイルを選択するだけです(図9)。一度ロードされたMyScopeコントロール・ウィンドウはアクティブな状態に保たれます(電源をオフにして再びオンにした場合でも)。MyScopeがメニューとボタンの両方のツールバーに追加されていますので、ほかのコントロール・ウィンドウと同様に簡単にアクセスできます。

テスト内容に変更が生じても、MyScopeコントロール・ウィンドウをアップデートすることは簡単です。[MyScope]メニューから[Edit Control Window]を選択すれば、コントロール・ウィンドウを編集し、必要に応じて機能を追加または削除できます(図10)。すでに配置したコントロールを修正するには、そのコントロールをクリックし、プレビュー・ウィンドウまでドラッグして戻すだけで簡単に行えます。この操作に連動して、コントロール・ツリーの関連部分が開くので、変更するコンポーネントのオン/オフを切り替え、コントロール・ウィンドウにドラッグして戻すことができます。

Users of

MyScope control windows

使用頻度の低いユーザ

エンジニアは、新しい設計を行っている間、オシロスコープから数か月間離れて過ごすことがあります。そしてプロトタイプが届くと、それが正しく動作するかを確認するために、ほとんどの時間を計測ベンチで過ごします。その時、オシロスコープの設定が前回使用していた時と異なっている場合があります。このような場合、オシロスコープの使用方法を再び学習するために時間を費やすことになります。このような場合、MyScopeコントロール・ウィンドウを使用すると、前回使用したコントロール・ウィンドウをロードするだけで、作業を開始することができます。オシロスコープの操作方法を学習し直すために、無駄な時間を費やす必要はありません。

パワー・ユーザ

同じ測定作業や類似した測定作業を1日に数百回実行している場合は、プロセスの各ステップをできる限り効率的に実行できることが望まれます。繰り返し使用する機能を表示するまでに、メニューからメニューへ移動しなければならないということは、作業量が大幅に増え、全体的に効率が落ち、フラストレーションが溜まることでしょう。MyScopeコントロール・ウィンドウを使用すると、このような余分なステップを排除できます。

平均的なユーザ

問題を解決するために、いろいろな機能（トリガ、測定、演算など）を使用しますが、これらの機能はオシロスコープのすべての機能の10%に過ぎないかもしれません。しかし、この10%がユーザ自身にとって最も有効な機能であるといえます。ただ、これらの機能は複数のメニューにまたがっているため、その位置を探し出すことが非常に困難な場合があります。このような場合、MyScopeコントロール・ウィンドウを使用すると、これらの必要なすべての機能を同じコントロール・ウィンドウに集約して「自分専用」のコントロール・ウィンドウを作成できるので、作業効率もアップし、大変便利です。



Mouse Right-Clicks

make work more intuitive

右クリックによる 状況に応じた設定メニュー

単純な作業は簡単に行う。これが右クリック・メニューの思想です。TDS5000Bシリーズには、それぞれの状況に応じた設定メニューが右クリックによりポップアップ表示されますので、単純なタスクを実行するためのメニューやコントロール・ウィンドウ間の移動時間が最小限に抑えられ、極めて効率的です。

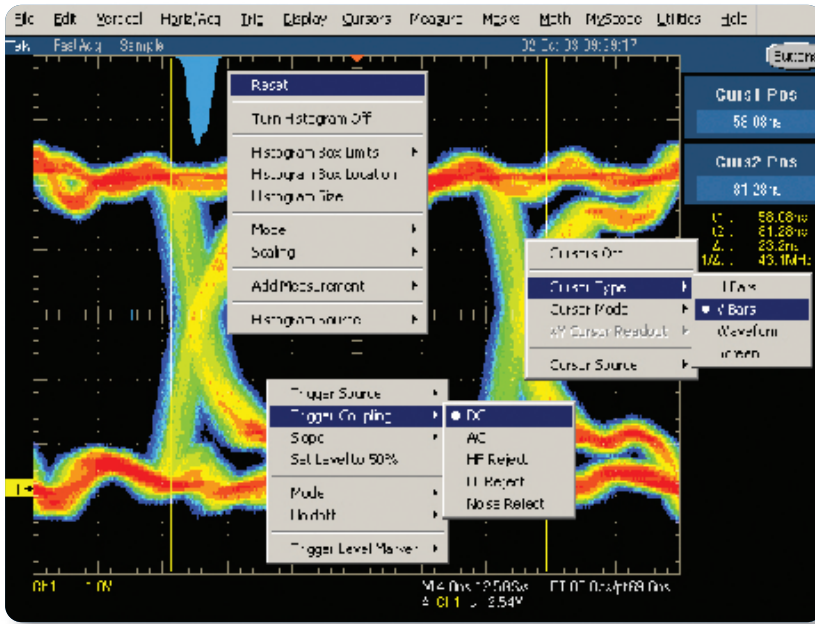


図11 — 右クリック・メニュー

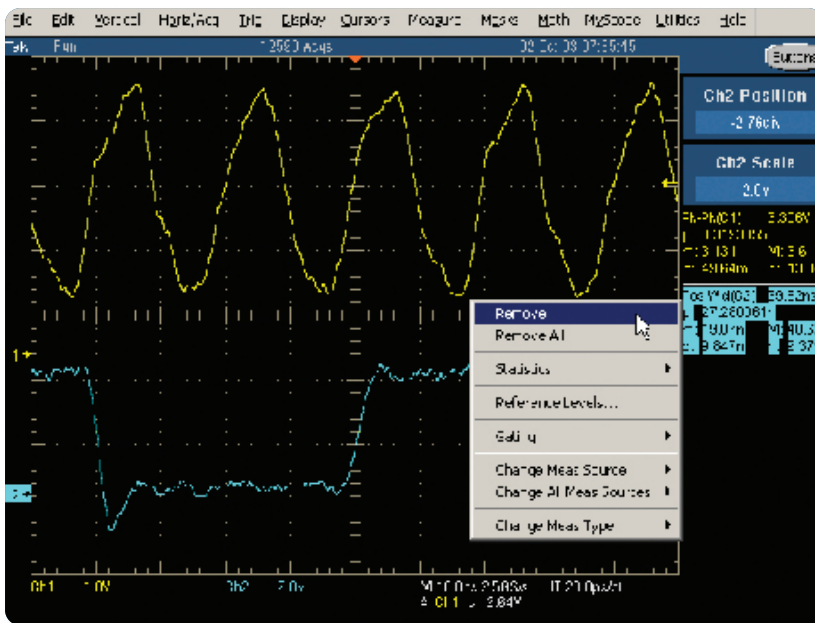


図12

右クリックは極めて直感的な操作性を実現します。カーソルの種類を変更する場合は、カーソルまたはカーソル・リードアウトで右クリックし、表示したいタイプを選択します。ヒストグラムをリセットする場合は、そのヒストグラムで右クリックします。トリガのパラメータを変更する場合は、トリガ・リードアウトで右クリックします。ディスプレイ上のほとんどのオブジェクトとリードアウトには、それらに関する操作と機能が右クリック・メニューに関連付けられています。したがって、目的の機能を調整する場合は、メニューやコントロール・ウィンドウを使用せず、その上で右クリックするだけで、直接アクセスできます。

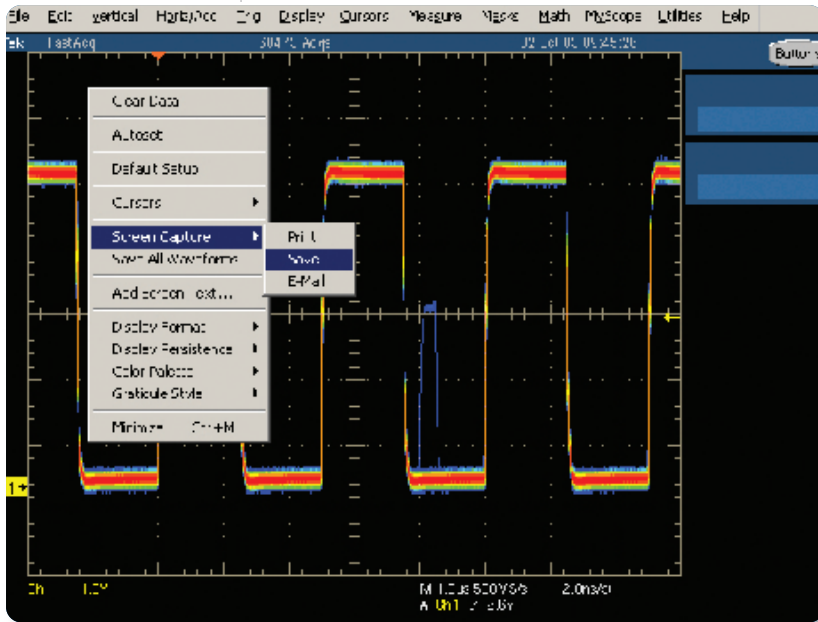


図 13

マウスの右クリックに加えて、TDS5000Bシリーズではマウス・ホイールを使用して操作性を大幅に向上しています。マウス・ホイールを使用してPC上でWebページをスクロールすることには慣れていないかもしれません。このオシロスコープでは、ホイールを使用して、オシロスコープの設定メニューの数値パラメータを調整できます。関連するパラメータが含まれるメニューで右クリック選択すると、そのパラメータが汎用ノブに自動的に割り当てられ、アクティブになりますので、マウス・ホイールで調整できるようになります。最初に、マウス・ホイールを上下にスクロールすると、パラメータを粗調整できます。次に、マウス・ホイールを押すと、微調整モードとなり（フロント・パネル上、汎用ノブの横のボタンを押す場合と同様）、より正確にパラメータを調整することができます。マウス・ホイールを再び押すと微調整モードから粗調整モードに切り替わります。したがって、メニュー・バーからコントロール・ウィンドウを開くことなく、目的の項目をすばやく調整できます。また、マウスから手を離さずに粗調整および微調整機能を使用することもできます。

The TDS5000B DPO Series



製品化スケジュールの短縮化を求められているエンジニアは、オシロスコープの操作ではなく、実際の問題解決にエネルギーと労力を向ける必要があります。MyScopeカスタム・コントロール・ウィンドウと、直感的に操作できる右クリック・メニューを備えたTDS5000Bシリーズは、かつてない優れた操作性を実現したオシロスコープです。これにより、エンジニアの負荷を軽減するだけでなく、効率と生産性の大幅な向上が図れます。

TDS5000Bシリーズの特長

MyScope™ カスタム・コントロール・ウィンドウを

採用したTDS5000Bシリーズは、かつてない優れた操作性を実現したデジタル・フォスファ・オシロスコープです。



直感的に使用できる右クリック・メニューとマウス・ホイール操作

によって、オシロスコープの操作性が大幅に向上します。

DPX® アクイジション技術の毎秒100,000波形を超える取込みレートにより、捉えにくい間欠的なグリッチや異常を秒単位で識別できます。

OpenChoice™ プラットフォームとWindows 2000オペレーティング・システムは、オシロスコープとコンピュータ環境との優れた接続性を提供します。

コンパクトな筐体に**10.4インチの大型ディスプレイ**を備えていますので、デスクや測定ベンチの貴重なスペースを節約できます。

ロックおよびスクロール機能を備えたMultiView™ズームにより、ロング・レコードでの操作が簡単になり、デバッグや解析の時間が短縮されます。パワフルで、簡単かつ直感的に操作できる機能により、複数の波形を比較したり、長時間の現象を詳細に確認する場合に有効です。

強力なトリガ機能によって、目的とする現象を確実に捉えます。

統計およびヒストグラム機能を含む**53個の自動測定**を備えています。

単純な計算式からFFTまでの幅広い演算機能とパワフルな数式エディタを備えた**拡張演算機能**を提供します。

コミュニケーション・マスク・テスト、ジッタおよびタイミング解析、電源解析、光ストレージ測定、ディスク・ドライブ測定、USBコンプライアンス・テストなど、**幅広いアプリケーションに対応したオプションのソフトウェア**を提供しています。

iView™はテクトロニクス・ロジック・アナライザと統合して運用できるので、デジタルとアナログの両方のデータを時間相関をもって観察でき、デバッグ効率が劇的に向上します。

Tektronix お問い合わせ先:

アメリカ 1 (800) 426-2200

アメリカ (輸出販売) 1 (503) 627-1916

イタリア +39 (02) 25086 1

インド (91) 80-2275577

英国およびアイルランド +44 (0) 1344 392400

オーストリア +43 2236 8092 262

中央ヨーロッパおよびギリシャ +43 2236 8092 301

オランダ +31 (0) 23 569 5555

カナダ 1 (800) 661 5625

スウェーデン +46 8 477 6503/4

スペイン +34 91 372 6055

大韓民国 82 (2) 528-5299

台湾 886 (2) 2722-9622

中華人民共和国 86 (10) 6235-1230

デンマーク +45 44 850 700

ドイツ +49 (221) 94 77 400

東南アジア諸国/オーストラリア/パキスタン (65) 6356-3900

日本 81 (3) 6714-3010

ノルウェー +47 22 07 07 00

フィンランド +358 (9) 4783 400

ブラジルおよび南米 55 (11) 3741 8360

フランスおよび北アフリカ +33 (0) 1 69 86 80 34

ベルギー +32 (2) 715 89 70

ポーランド +48 (0) 22 521 53 40

香港 (852) 2585-6688

南アフリカ +27 11 254 8360

メキシコ、中米およびカリブ海諸国 52 (55) 56666-333

ロシア、その他の旧ソ連共和国およびバルト海諸国 +358 (9) 4783 400

その他の地域からのお問い合わせ: Tektronix, Inc., USA 1 (503) 627-7111

Updated December 23, 2003

最新の製品情報については、次のURLを参照してください。

www.tektronix.co.jpまたはwww.tektronix.com

Copyright © 2004, Tektronix, Inc. All rights reserved. Tektronix製品は、米国およびその他の国の取得済みおよび出願中の特許により保護されています。本書は過去に公開されたすべての文書に優先します。製品の仕様と価格は予告なく変更する場合があります。TEKTRONIXおよびTEKはTektronix, Inc.の登録商標です。その他本書に記載されている商品名は、各社のサービスマーク、商標または登録商標です。

3/04 DOR/WOW

552-17152-0

Tektronix
Enabling Innovation

日本テクトロニクス株式会社

東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟6階 〒108-6106
製品についてのご質問・ご相談は、お客様コールセンターまでお問合せください。

TEL 03-6714-3010 FAX 0120-046-011

電話受付時間/9:00~12:00・13:00~19:00 月曜~金曜(祝日は除く)

当社ホームページをご覧ください。 <http://www.tektronix.co.jp/>
お客様コールセンター ccc.jp@tektronix.com